

使用前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みのる大苗用ハンドプランター HPS-9

大のなかよしくん

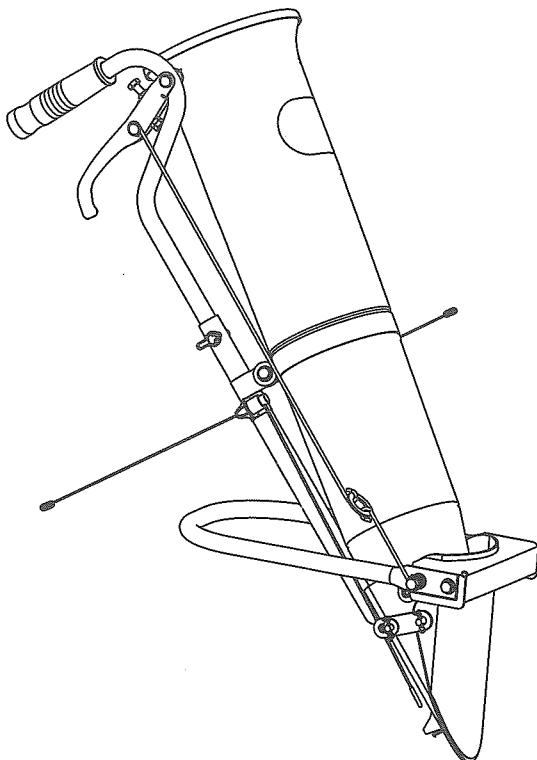
取扱説明書

- このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 本機は、2人1組で下図の3号ポリポット苗(口径9cm×高さ7.6cm)を移植するための機械です。使用目的以外の作業や改造はしないでください。
- ご使用前には本書を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 本書は大切に保管し、本機を貸与または譲渡される場合は、相手のかたに本書の内容を十分理解していただき、本書を本機に添付してお渡しください。
- 本製品は改良のため、仕様の一部を変更することがあります。その際には、本書の内容およびイラストなどが本製品と一致しない場合もありますが、ご了承ください。
- 本書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

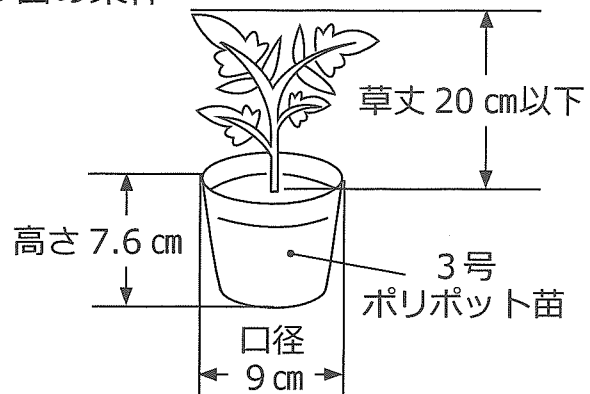
重要

この項目に従わなかった場合、物的損害をこうむるおそれのあるものを示しています。また、本機の性能を発揮させるための注意事項を説明しています。よく読んで本機の性能を最大限発揮してご使用ください。

●愛称マーク



●苗の条件



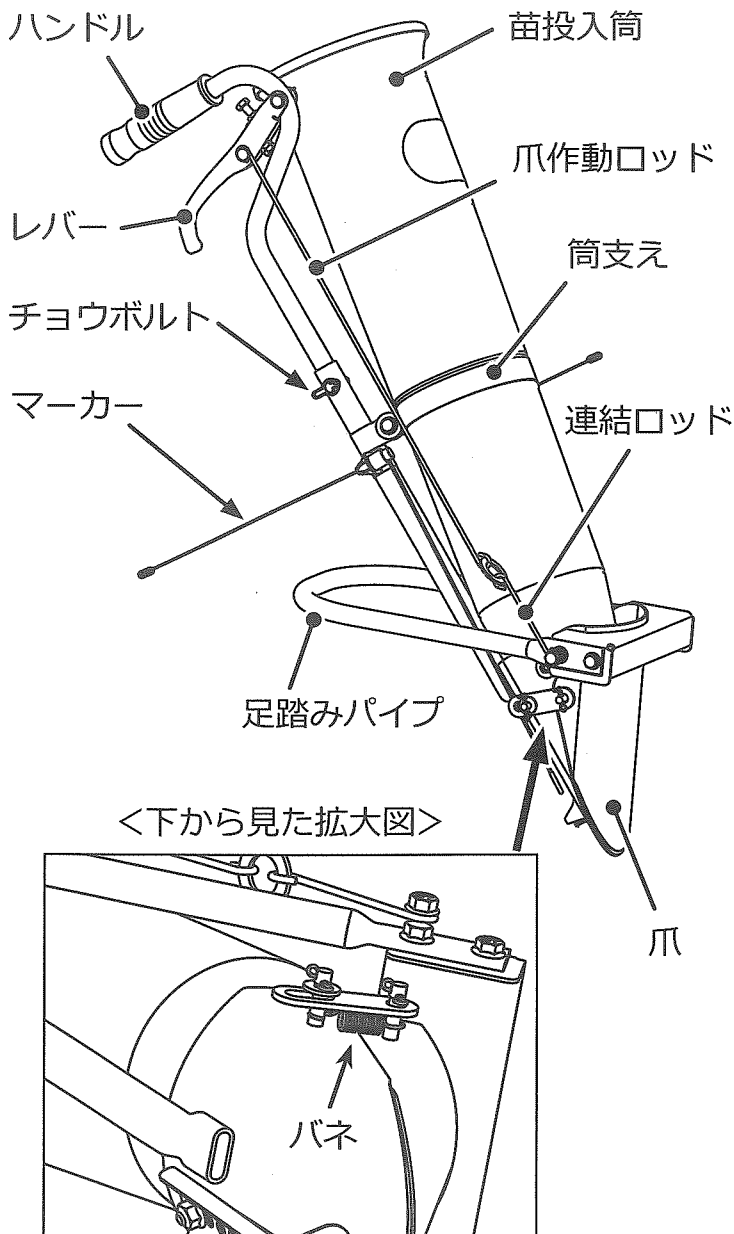
重要

- 移植時は、ほ場の碎土が十分できていること。
- 移植時は、耕うん後1週間以内で、雨にあっていないやわらかいほ場であること。

目次

各部の名称・付属品 ...	1	応用した使い方	5
各部の調節	2	(1) 苗投入筒を外す	5
ハンドル高さの調節	2	(2) 足踏みパイプを外す	5
爪の開き量の調節	2	(3) 苗投入筒の位置変更	6
レバー部の遊び調節	3	不調時の処置	7
植付深さの調節	3	サービス資料	8
マーカーの調節	3	本機の保証	8
作業のしかた	4	サービスネット	8
苗の条件	4	補修用部品供給期間	8
ほ場の条件	4	主要諸元	8
基本の使い方	4	保証書	裏表紙

各部の名称・付属品

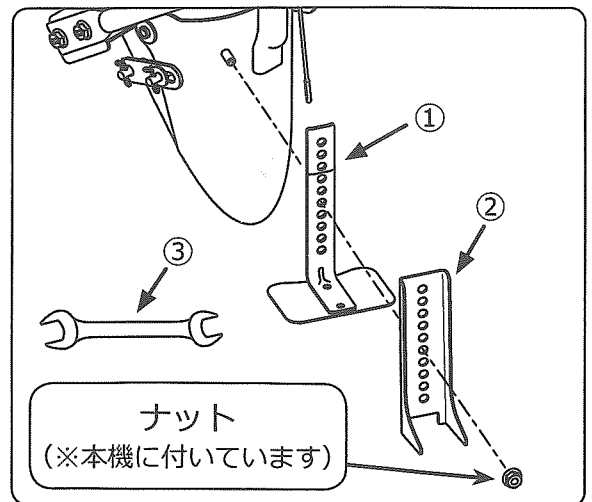


■付属品 (①～⑤)

- ① 深さ調節板
- ② 深さ調節補強板
- ③ 両口スパナ 8×10

＜①・②の組立方法＞

「①深さ調節板」の上に「②深さ調節補強板」を重ね、「③両口スパナ 8×10」で本機に取り付けてあるナットを使用して固定します。(3ページ参照)



- ④ 取扱説明書 (本書)
- ⑤ 連結板長 (2ページ参照)



各部の調節

■ハンドル高さの調節

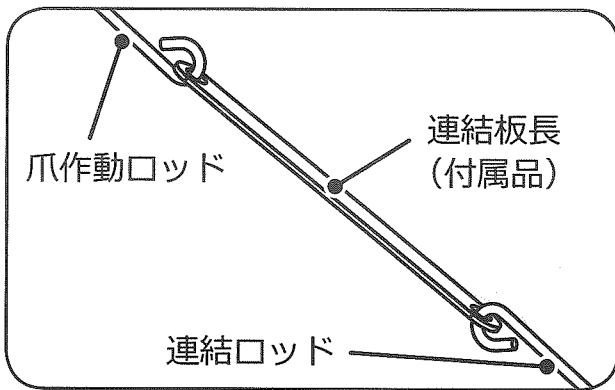
重要

●ハンドル高さを調節した場合、必ず「爪の開き量の調節」（下記参照）と「レバー部の遊び調節」（3ページ参照）を行なってください。

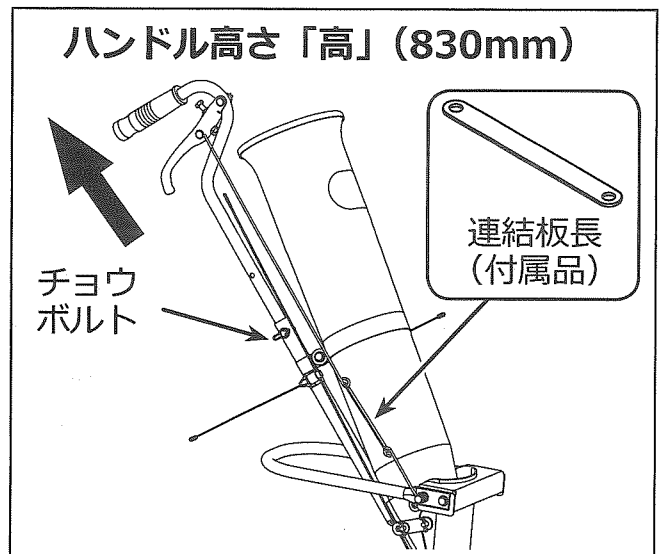
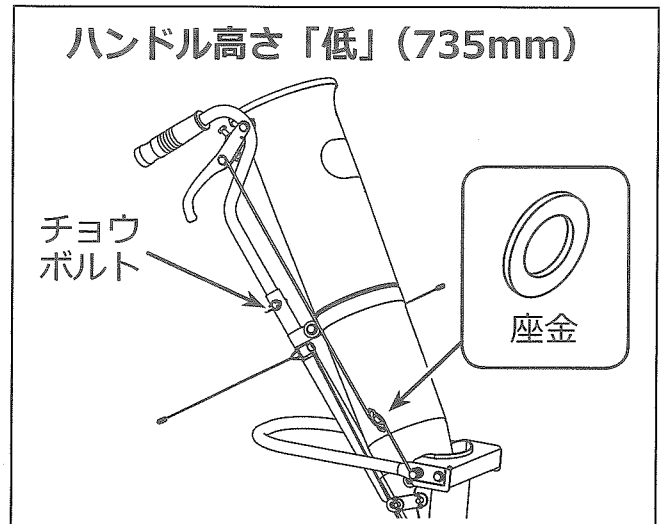
- ハンドル高さは、身長やほ場の高さに合わせて「高」（830mm）と「低」（735mm）の2段階に調節できます。

出荷時は「低」の位置です。ここでは、ハンドル高さ「高」への調節方法を説明します。取り外した座金は、ハンドル高さ「低」に戻す時に使用しますので、大切に保管してください。

- ① チョウボルトを取り外します。
- ② 座金を取り外し、連結板長（付属品）を取り付けます。このとき、爪作動ロッドと連結ロッドを下図の向きに取り付けてください。

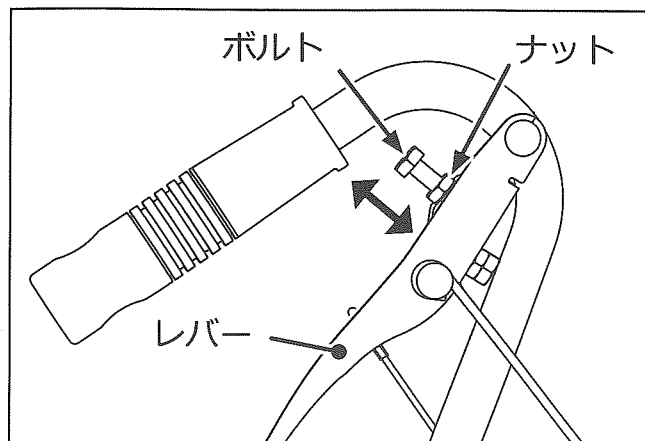
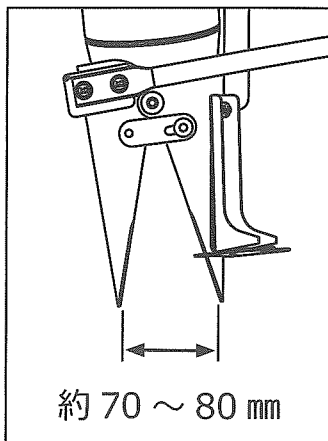


- ③ ハンドル高さを「高」の位置にします。
- ④ チョウボルトを穴に差し入れ、しっかりと締めてください。



■爪の開き量の調節

- 爪の開き量は、レバー部のボルトの高さで調節します。ナットをゆるめ、ボルトを上下に調節してください。約70mm～80mmに調節できます。



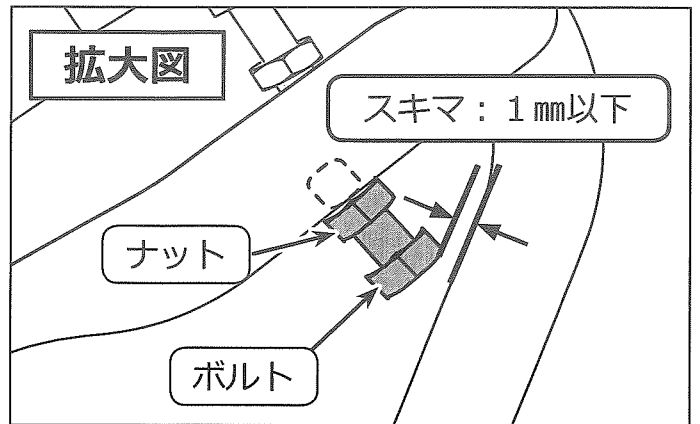
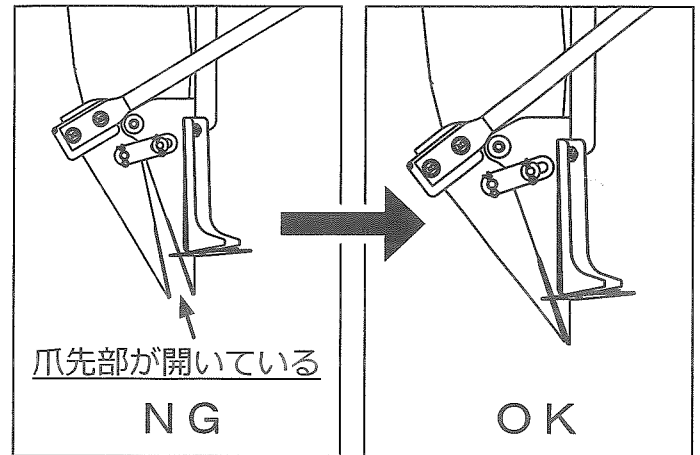
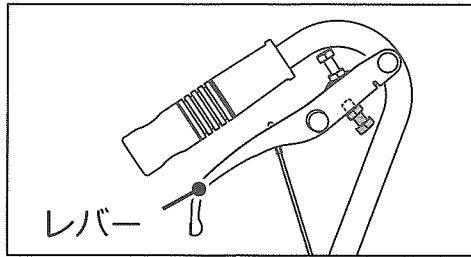
各部の調節

■レバー部の遊び調節

重要

作業時に爪先部が開いていると、下部から土が入り、植付不良の原因になります。

- ① ハンドル高さを調節した場合、レバーを握らない状態で、爪先部が開いていないか確認してください。
- ② 爪先部が開いている時は、ナットをゆるめ、ボルトを上下に調節してください。ボルトとハンドルのスキマを1mm以下にして、爪先部が閉じているか確認してください。



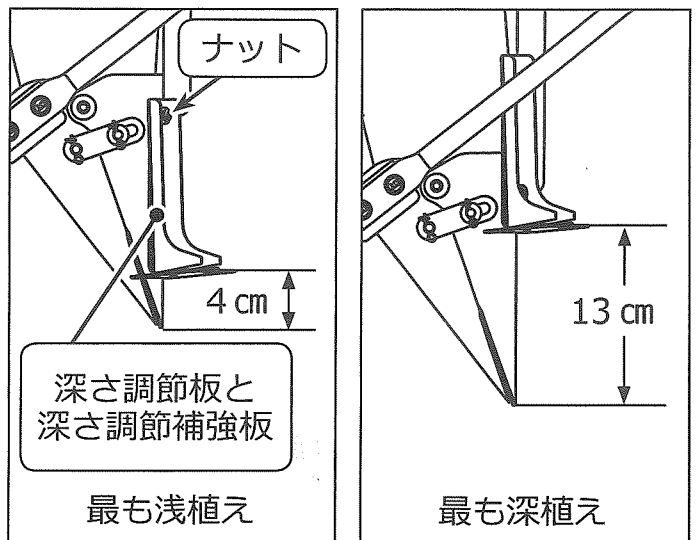
■植付深さの調節

重要

● 植付深さはほ場の条件により変化します。必ずためし植えを行ない、調節してください。
● 作業前、必ずナットのゆるみ・脱落はないか点検してください。ゆるんでいる場合、完全に締めなおしてください。

- 植付深さは約4～13cmまで1cm間隔で調節できます。

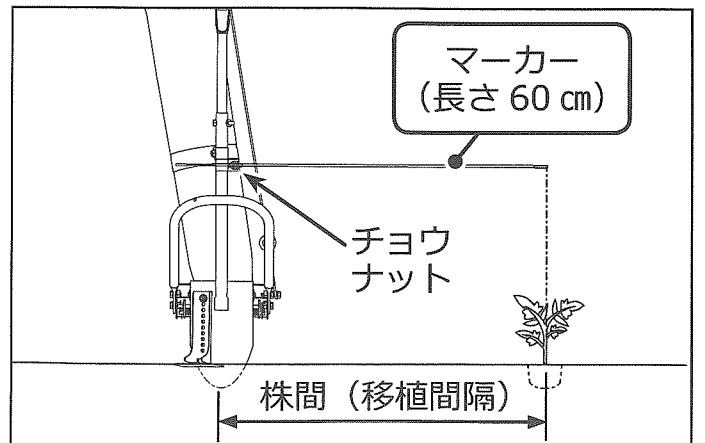
深さ調節板と深さ調節補強板を取り付けているナットを付属品のスパナで外し、取り付け位置を調節します。(1ページ参照)



■マーカの調節

- 株間(移植間隔)の目安は、マーカで行ないます。マーカの調節は、チョウナットをゆるめて行ってください。

位置決め後は、チョウナットを十分締め付けてください。苗にマーカが引っかかる時は、チョウナットをゆるめ、マーカを上げてください。



作業のしかた

■ 苗の条件

- 本機で植えることができる苗は、3号ポリポット苗（口径9 cm×高さ7.6 cm）です。
- 草丈は、20 cm以下を推奨します。それ以上の長さになると、苗を通過させるのが大変です。
- 根の張りが十分で根鉢が崩れない苗を使用してください。

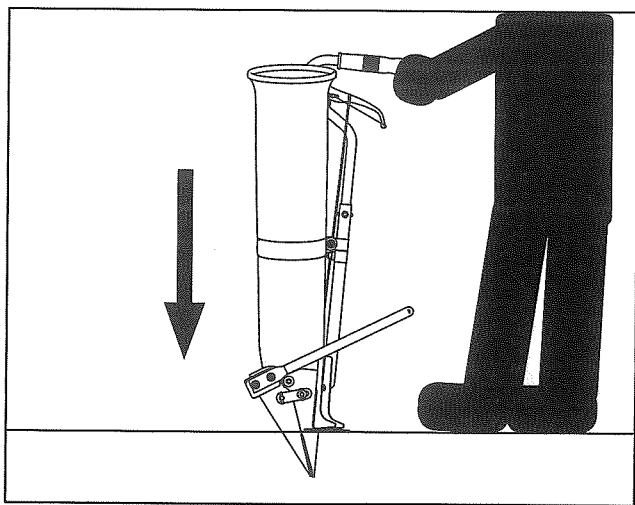
■ ほ場の条件

- 砕土が十分できているほ場で移植してください。
- 耕うん後1週間以内で、雨にあっていないやわらかいほ場で移植してください。

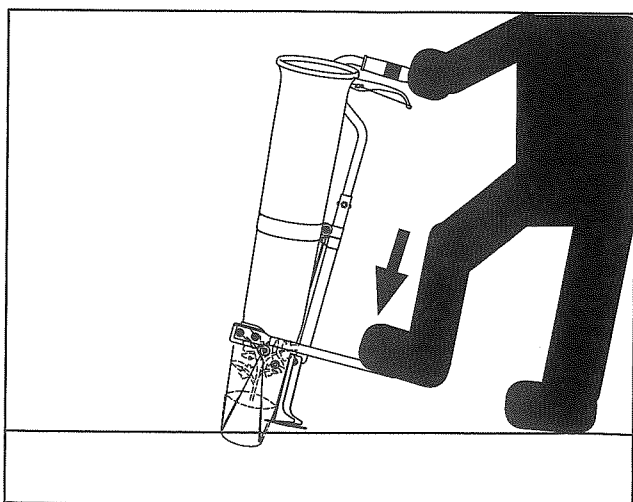
■ 基本の使い方

- 作業は2人1組で行ないます。1人は本機で苗を移植し、もう一人は苗を運搬したり、ポットから取り出したり、苗投入筒に苗を入れたりします。

- ① レバーを握らずにハンドルを持ち、植え付け位置に勢よく差し込みます。



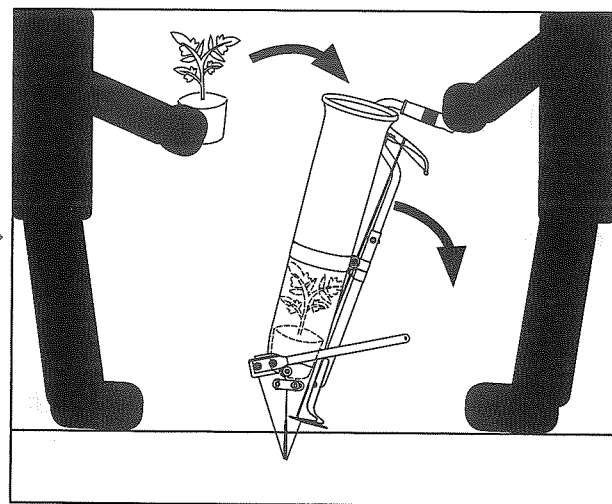
- ③ ハンドルをしっかり支えながら足踏みパイプを踏んで爪先部を開き、苗を植えます。



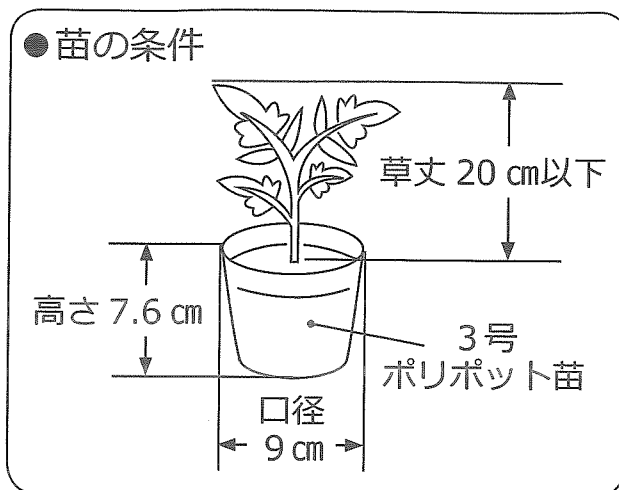
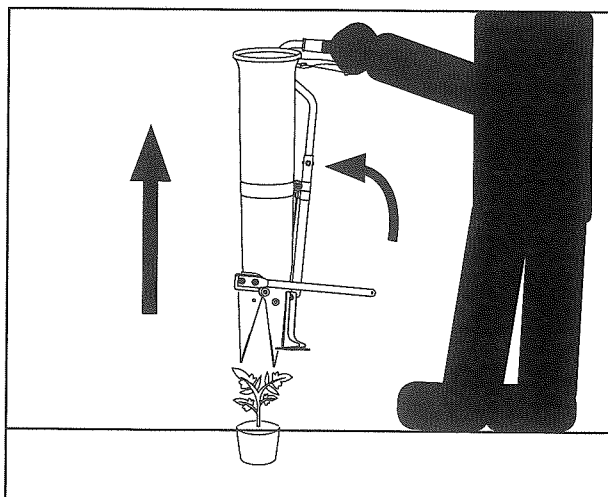
重要

足踏みパイプを過度に踏み込まないでください。本機が損傷するおそれがあります。

- ② 苗投入筒に苗を入れます。この後、本機を少し手前に倒すと爪が開きやすくなります。



- ④ 本機（苗）をまっすぐにし、レバーを握りながら、本機を上を持ち上げます。



作業のしかた

■応用した使い方（※ご不明点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。）

（１）苗投入筒を外す

<こんな困ったことが・・・>

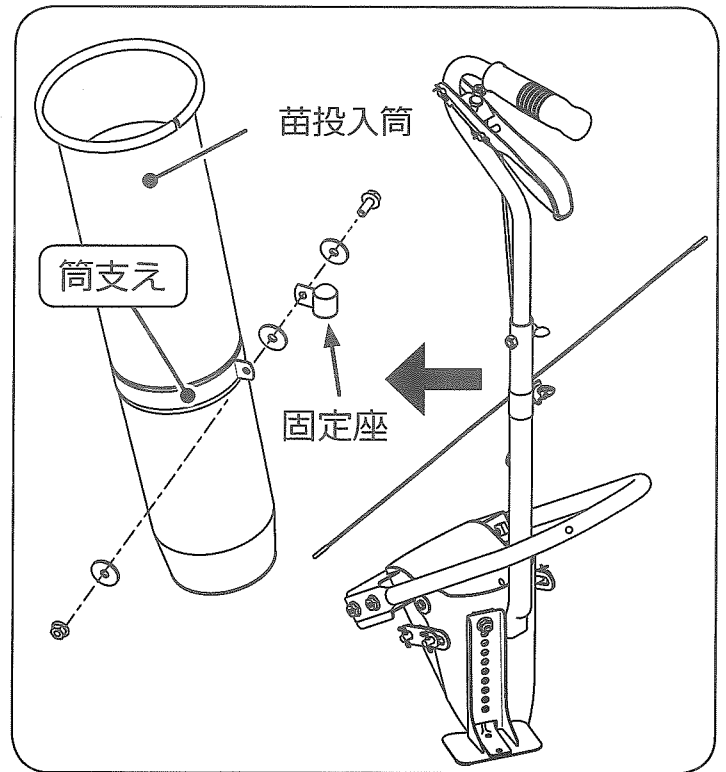
- 根鉢が崩れやすい苗のため、苗投入筒に入れて落ちた瞬間に根鉢が崩れてしまう。

<応用>

- 苗投入筒を外し、苗を爪の中に直接入れることができます。苗をそっと入れることで根鉢を崩さずに植付できます。ただし、座つたり腰をかかめる必要があるため、疲労しやすくなります。

<外し方>

- 筒支えを固定しているボルトとナットを緩め、苗投入筒・座金・固定座を外します。外した部品は、元に戻す時のために大切に保管してください。



（２）足踏みパイプを外す

<こんな困ったことが・・・>

- 機体が重いいため、少しでも軽くしたい。

<応用>

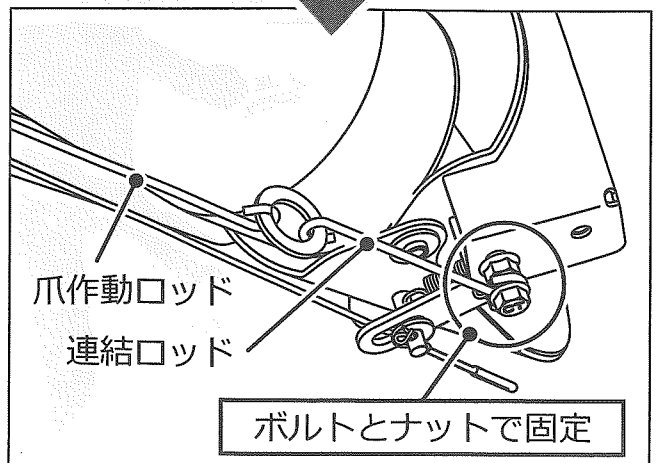
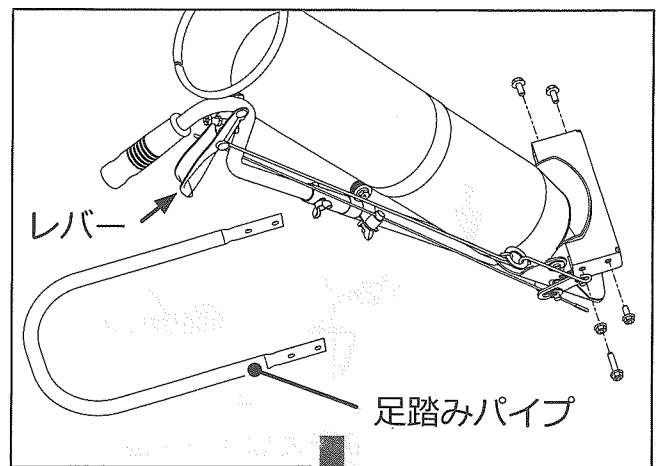
- やわらかいほ場に限り、足踏みパイプ（約0.4kg）を外して機体を軽くできます。
- 移植用の穴は、レバーを握る握力であけます。ただし、腕が疲労しやすくなります。

重要

やわらかいほ場以外で足踏みパイプを外さないでください。かたいほ場で無理にレバーを握ると、機体が破損します。
(例) 爪作動ロッドや連結ロッドの折損

<外し方>

- ① ボルト4本とナット1個を緩め、足踏みパイプを外します。
- ② ボルト1本とナット1個で連結ロッドを元の位置に取り付けてください。

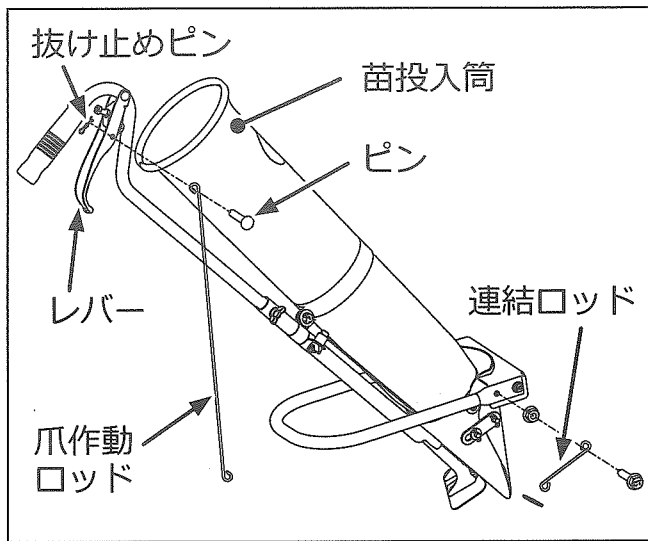


作業のしかた

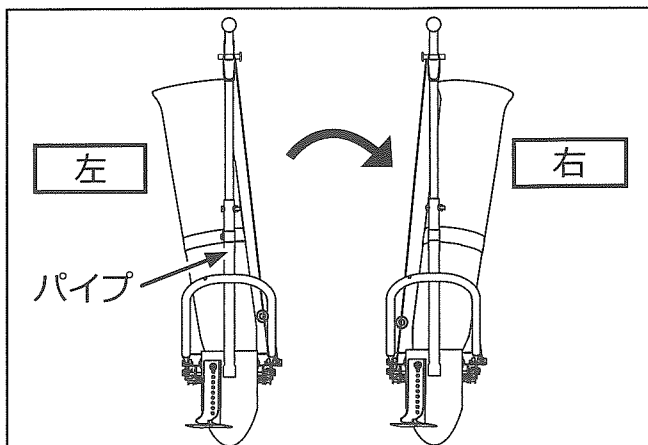
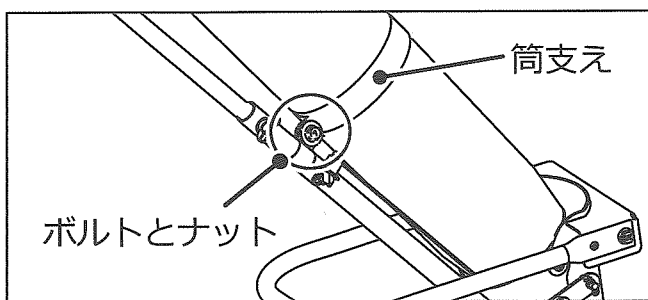
(3) 苗投入筒の位置変更

● 苗投入筒は、左右位置を変更することができます。作業しやすい位置で使用してください。ここでは、作業者から見て「左」→「右」へ変更します。

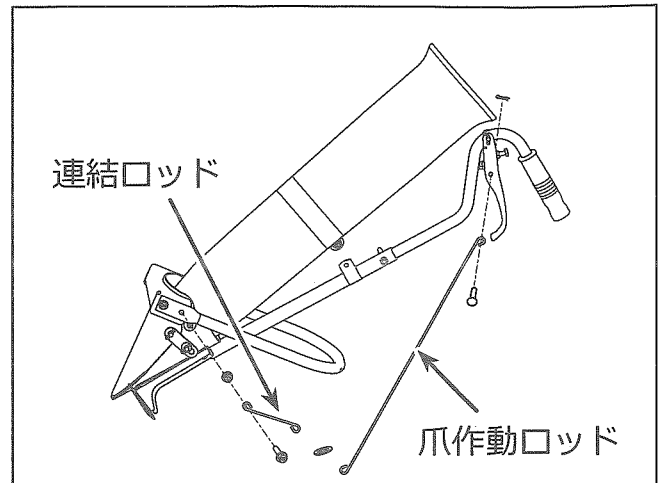
- ① ハンドル高さが「低」の場合、「高」に調節します。(2ページ参照)
- ② レバー部の抜け止めピンを外し、ピンと爪作動ロッドを外します。足踏みパイプ部のボルトとナットを外し、連結ロッドを外します。



- ③ 筒支えのボルトとナットをゆるめると、苗投入筒がパイプ上で回るようになります。下図の通り、左から右へ回します。



- ④ 連結ロッド→爪作動ロッドの順に②と反対側(左)に取り付けます。



- ⑤ ①でハンドル高さを「低」→「高」に調節した場合、「低」に戻します。(2ページ参照)
- ⑥ 「爪の開き量の調節」(2ページ参照)と「レバー部の遊び調節」(3ページ参照)を行ないます。

不調時の処置

不調内容	原因		処置	参照 ページ
植付後に苗を持ち上げてしまう	機械	○爪の開き量が小さい	○爪の開き量を大きくする	2
ころび苗が多い	機械	○爪の開き量が大きい	○爪の開き量を小さくする	2
	ほ場	○ほ場がかたい ○ほ場が湿っている ○ほ場表面にゴミ、石が多い ○ほ場の凹凸が大きい	○十分に碎土する ○よく乾いてから移植する ○できるだけ取り除く ○ていねいに耕うんし、 ほ場表面を均平にする	4

上記以外の不調の場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

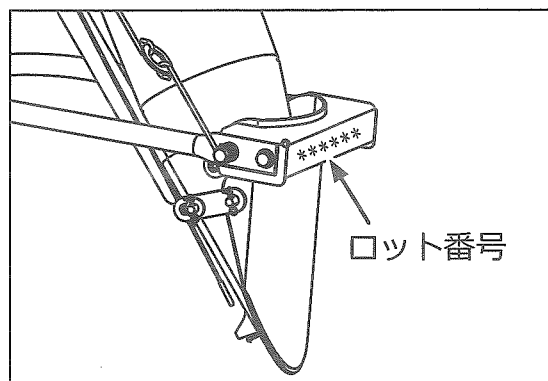
サービス資料

■ 本機の保証

本書裏表紙に保証書があります。詳細は保証書をご覧ください。

■ サービスネット

ご使用中の故障や不審な点およびサービスに関するご用命は、販売店へお気軽にご相談ください。その際、型式名、ロット番号をあわせてご連絡ください。



■ 補修用部品供給期間

本機の補修用部品の供給期間は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給期間内であっても、特殊部品につきましては、納期などご相談させていただく場合があります。

■ 主要諸元

名 称		大苗用ハンドプランター
型 式		H P S - 9
機 体 寸 法	全 長 (mm)	280
	全 幅 (mm)	200
	全 高 (mm)	735、830 (2段階)
	質 量 (kg)	2.8
爪先部の開口大きさ (mm)		70 ~ 80
植付深さ (mm)		40 ~ 130 (10 mm間隔で10段階調節)
適 応 苗		3号ポリポット苗 (口径9 cm×高さ7.6 cm)

※仕様は予告なく変更する場合があります。

memo

保証規定

- 保証期間内（お買上げ日より1ヶ年）に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - 取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷
 - ご購入時に、「お買上げ日」「販売店名」が未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 消耗部品

 **みのる産業株式会社**

保証書

※ 本書は再発行しませんので大切に保存してください。

保証期間	1ヶ年
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所
〒	TEL
ご芳名	様

販売店	住所
店名	印
	TEL

みのる産業株式会社

本社工場 〒 709-0892 岡山県赤磐市下市 447
TEL(086)955-1123 (代) FAX(086)955-5520

東京支店 〒 337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210
TEL(048)683-9451 (代) FAX(048)683-9452

長野営業所 〒 389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4
TEL(026)257-6530 (代) FAX(026)257-6531

徳島営業所 〒 771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東 197
TEL(088)641-2311 (代) FAX(088)641-2324

九州支店 〒 818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1
TEL(092)921-6006 (代) FAX(092)921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp/>